

KOBE CITY
COLLEGE of NURSING
**VISION
2025**



神戸市看護大学ビジョン
2025

ビジョン策定にあたって

神戸市看護大学では、2026年に開学30周年を迎えるに先立ち、教職員の間で、目指す大学像や、それを実現するモットーについて話し合う機会を持ち、その結果を大学のビジョンとしてまとめました。

神戸市看護大学は、今後も「地域とともに看護の未来を創造しつづける大学」として、教職員一体となって取り組んでいきます。



理事長
北 徹



学 長
江川 幸二

多様化・複雑化していく社会の中で 使命を果たしていくために

神戸市看護大学の使命は、保健医療に関する質の高い教育研究活動に取り組み、その成果を絶えず地域社会に還元すること、さらに豊かな人間性、教養を備えつつ、看護専門性を持ち合わせた実践力のある看護人材を育成することを通して、学術の発展、市民の健康、医療、福祉の向上に寄与することです。

今後ますます多様化・複雑化していく社会の中で大学の使命を果たしていくために、教職員が、学生の意見も踏まえて、どのような大学でありたいか、どのように大学を運営していくかについて、想いを出し合って共有することは大変重要なことと考えています。今回のビジョン策定の取組みを通じて、これからも教職員の持てる力を結集して大学を運営していきたいと考えています。

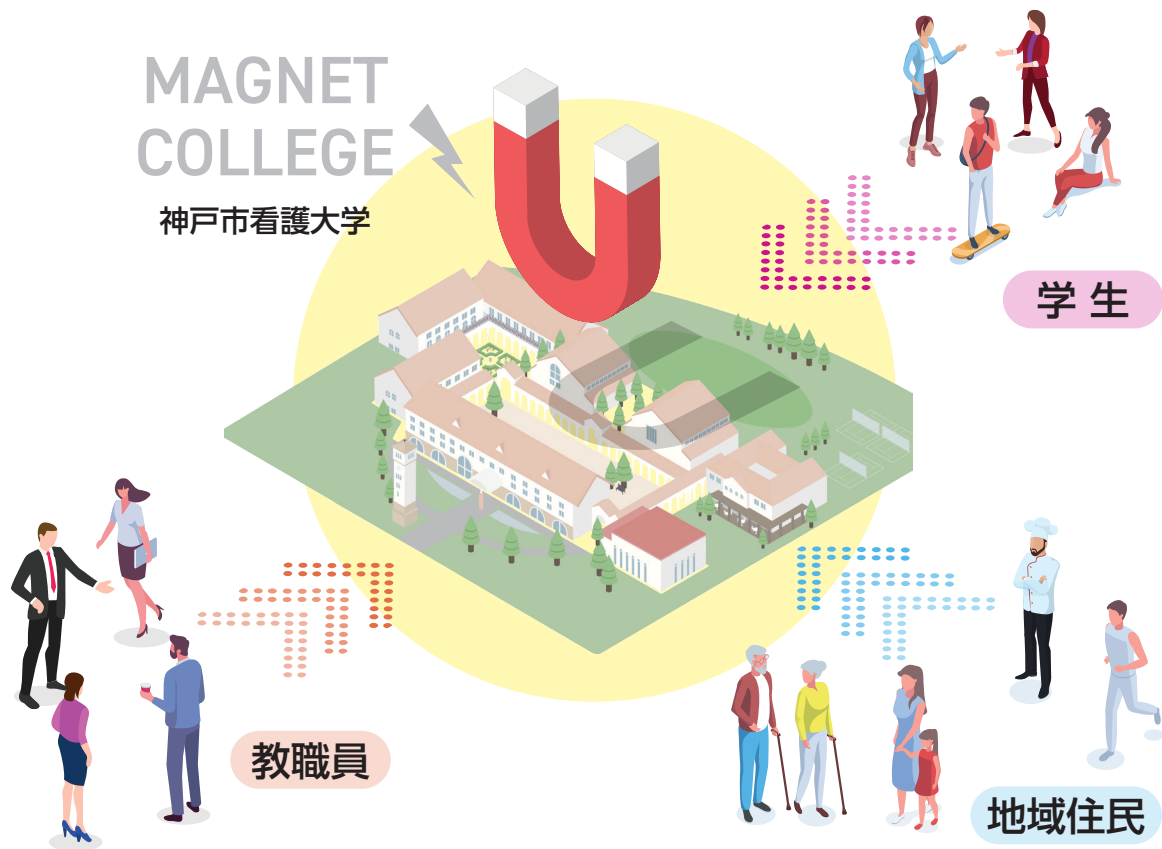
神戸市看護大学を マグネット・カレッジに

米国では、磁石のように看護師をひきつける魅力的な病院をマグネット・ホスピタルとして認証する制度があります。神戸市看護大学は、マグネット・ホスピタルの大学版として、教職員や学生、地域の方々をひきつける「マグネット・カレッジ」でありたいと思います。

そのためには、様々な視点から大学運営を点検し、不断の改善を行っていく必要がありますが、何より、教職員が「マグネット・カレッジ」を目指し、自律的に教育研究等に取り組むことが重要です。大学運営にかける教職員の想いを集約したビジョン 2025は、「マグネット・カレッジ」実現の要となるものです。このビジョンを指針として、教職員一体となって取り組んでいきたいと思っています。

マグネット・カレッジ構想

(教職員や学生、地域住民を磁石のようにひきつける魅力的な大学)



マグネット・カレッジ実現のための教職員のマインドセット

コアバリュー：相互に尊重し思いやるケアリングマインドを持つ

- | | | | |
|----|-------------------------|----|-------------------------|
| 01 | 教職員相互のコミュニケーションを大切にする | 06 | 地域の方々の健康課題にコミットする |
| 02 | 教職員および学生の人格・人権・個性を尊重する | 07 | 学生・地域住民の意見を尊重する |
| 03 | マグネット・カレッジを目指してワンチームになる | 08 | 研究成果を地域社会に還元する |
| 04 | どうすれば課題解決できるかを考えて提案する | 09 | 一人ひとりが大学運営に関わる経営マインドをもつ |
| 05 | より良い教育を常に模索し実践する | | |

地域とともに 看護の未来を創造しつづける大学

看護大学の **MISSION** × **VISION** × **MOTTO**

MISSION 大学の使命

私たちが社会に提供すべき価値

VISION 目指す大学像

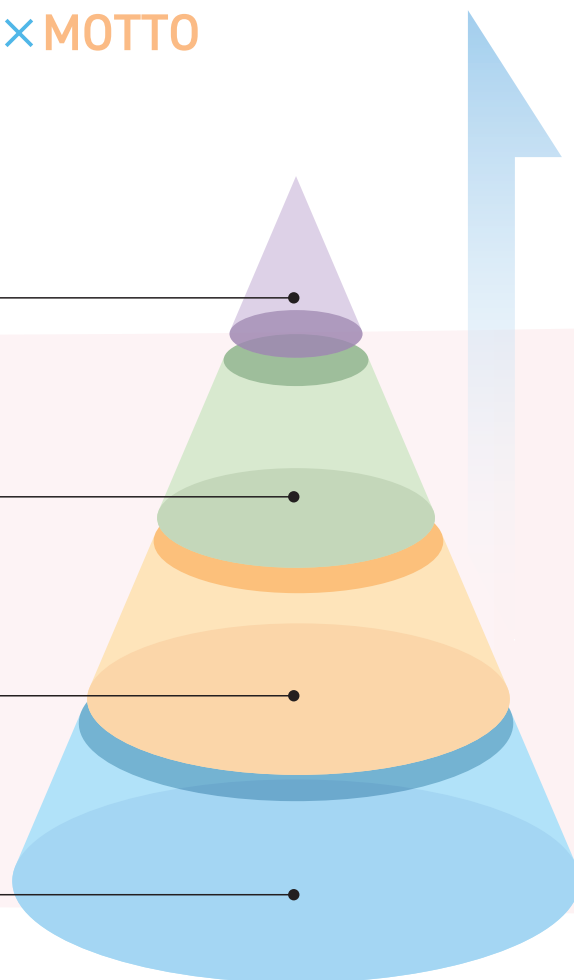
私たちが目指す大学の姿

MOTTO 教職員の信条

私たちが共有する価値観

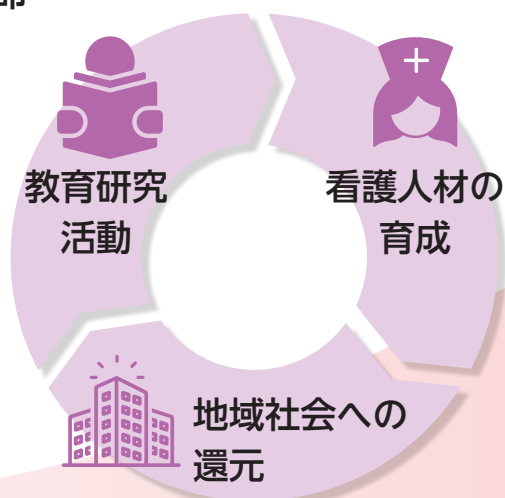
ACTION PLAN 中期計画

2025年度から6年間の運営計画



MISSION 大学の使命

保健医療に関する質の高い教育研究活動に取り組み、その成果を絶えず地域社会に還元すること及び豊かな教養と看護の専門性を備えた実践力のある看護人材を育成することを通じて、学術の発展と市民の保健、医療及び福祉の向上に寄与すること（定款第1条より）



VISION 目指す大学像

地域とともに看護の未来を創造しつづける大学



優れた看護実践力を持った人材を育成する大学



地域の人々の健康に貢献する大学



関わる全ての人が誇りを持てる大学

MOTTO 教職員の信条



地球規模で考え、
地元から行動します



誰からも学ぶ
姿勢を持ち、
絶えず切磋琢磨
します



一人ひとりの違いを
活かせるよう、個性
を尊重します

ACTION PLAN 中期計画

第2期中期計画（2025年度～2030年度） 主な内容



看護人材の 育成と地域への 着実な供給

教育の充実

- ・ 教学マネジメント実施体制を構築し、PDCA サイクルによる継続的な改善を行う
- ・ 阪神・淡路大震災やコロナ禍の経験を活かした災害看護学や感染看護の教育を強化する
- ・ 教育・実習ボランティアや近隣医療機関との協働による教育を充実させる
- ・ 看護師、保健師、助産師の国家試験合格率 100%を目指す

学生への支援

- ・ クラス担任制による学修支援を行う、特別な配慮を要する学生への学修支援を強化する

就職・キャリア支援

- ・ 低学年からのキャリア支援を充実させる、SNS 活用等により卒業生のキャリア支援を行う
- ・ 市内医療機関等の情報提供や市内就職奨励金などにより市内就職率向上を図る



大学ブランドの 強化・向上

学術研究の推進

- ・ 地域の保健・医療課題に関する研究活動や地域の医療機関等との共同研究を推進する

地域の保健医療への貢献

- ・ まちの保健室、コラボカフェなどの地域貢献活動を行う
- ・ リカレント教育や地域の在宅医療等についての教育研究など地元の看護人材の支援を行う

国際交流の推進

- ・ 海外研修や海外の大学との交流を促進する
- ・ 地元の保健・医療分野で働く外国人のニーズに応じたキャリア支援を行う



業務運営及び 財務運営の改善

効率的で機動的な運営体制

- ・ 状況に応じた組織体制の見直し、客観的で公平・透明性のある教員人事評価制度
- ・ 外部有識者や学生、地域の声を大学運営に反映するなど開かれた大学運営を推進する

自己点検・評価、情報公開

- ・ 内部統制システム、自己点検・評価などによる評価と改善、情報公開を推進する

健康管理・安全対策

- ・ 心身の健康と安全の確保、危機管理体制の整備、ハラスメント行為の防止を図る